

1 内政

(1) 与党議員に対する出国禁止命令

5日、危険事案A法廷（当館注：第一審を行う刑事裁判所の法廷の名前。A、B、C、Dの4つの法廷が存在する）は、エドガル・オバジェ与党国民集中戦線（FCN）議員に対して出国禁止命令を出した。オバジェ議員は、内戦時代の人権侵害の罪で、8月29日に不逮捕特権剥奪請求を受けていた。検察庁は同議員に対する捜査を進めるために、同議員の出国禁止を申請し、危険事案A法廷が右申請を認めた。出国禁止命令が出されたことで、同議員が逮捕される可能性が高くなった。オバジェ議員は、FCNの創設者の1人であり、モラレス大統領にFCNへの加入と大統領選への立候補を促した人物である。

(2) モラレス大統領とカブレラ副大統領の関係悪化

21日、カブレラ副大統領は、2015年の大統領選の際に与党国民集中戦線（FCN）が不正な選挙資金を受け取ったとされる疑惑に関して、本件はモラレス大統領に説明責任があると述べ、両者の関係悪化を示唆するような発言を行った。ホルヘ・ウォン国立サンカルロス大学政治研究所研究員は、本件に関し、「今の状況は、政府及び与党内の分裂を引き起こし、両者に対する（国民からの）信頼がさらに失われる可能性があるため、政府及びFCNにとって極めて複雑な状況である」と述べた。

2 外交

(1) モラレス外相と英外務副大臣の会談

12日、モラレス外相は、当国を訪問したジョイス・アネリー英外務副大臣と会談した。会談では、両国間の貿易及び投資関係の強化や両国の政治アジェンダなどに関して話し合われた。モラレス外相は、会談の中で、汚職及び無処罰問題撲滅に対する当国のリーダーシップに関して話した。また、アネリー英外務副大臣は、将来のFTA締結も含めた両国間の貿易関係強化に関して発言した。加えて、同副大臣は、当国とベリーズとの国境問題は、民主的に国際司法裁判所で解決されることが望ましいと考えている旨述べた。

(2) 米国国務次官補西半球担当の当国訪問

14日、フアン・ゴンサレス米国国務次官補西半球担当が当国を訪問した。同国務次官補は、中米北部三カ国繁栄のための同盟計画は米国外交が優先する事項の1つであるため、どの人物が政権を握っているかにかかわらず、米国は同計画を支援する旨述べた。米国政府は、グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラスから米国への不法移民の数を減らすことを目的とした同計画のための予算である7億5千万米ドルをすでに承認している。

3 経済

(1) 米国に対する輸出割合の減少

6日、中銀は、2016年9月までの米国に対する輸出額が、当国からの全輸出額の33.7%を占めていることを発表した。2000年における同数値は50%であり、当国からの輸出先が多様化していることを示している。トランプ政権の誕生により、米国・中米FTAの見直し等の可能性があるため、当国の輸出先が多様化することは望ましいと考える経済学者もいる。

(2) 配車アプリ Uber の当国での運用開始

12日、当国で配車アプリ Uber の運用が開始された。8月に当国での運用が開始される見込みであることがアナウンスされていたが、既存のタクシー運転手などからの反対が相次ぎ、運用開始が遅れていた。Uber でタクシーを利用する場合、5.25ケツアルからメーターが計算され、1分あたり0.45ケツアル、1kmあたり2.27ケツアルが加算される。最低料金は12ケツアル。

◇主要経済指標◇	2016年			2015年	2014年
	12月	11月	10月		
インフレ率（前年同月比）	4.23%	4.67%	4.76%	3.07%	2.95%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△691.3	△684.0	△6,913.1	△7,477.6
輸出(百万ドル)	未発表	859.1	716.8	10,726.2	10,804.1
輸入(百万ドル)	未発表	1,550.4	1,400.8	17,639.3	18,281.8
外貨準備高(百万ドル)	9,160.4	9,003.6	9,063.2	7,751.2	7,333.4
外国からの送金(百万ドル)	678.4	600.3	605.9	6,285.0	5,544.1
為替レート(対ドル月平均)	7.50	7.50	7.50	7.65	7.73

(出所：中銀、国立統計院)

注) 2014年及び2015年の為替レートは年平均